

非常持出品・備蓄品を準備

大規模災害発生時には、電気、ガス、水道などのライフラインが途絶する場合があります。また、道路の破損等により、水や食料などの支援物資が手元に届くまでには時間がかかります。

いざというときに備えて、非常持出品や備蓄品をあらかじめ用意しておきましょう。

<p>✓ 食品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 非常食（乾パン、缶詰、レトルト食品など3日分程度） <input type="checkbox"/> 飲料水（1人1日3リットル、3日分程度） <p>✓ 食器類</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ <input type="checkbox"/> 割り箸・スプーン <p>✓ 日用品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> マスク・軍手 <input type="checkbox"/> 小型ナイフ 	<p>✓ 貴重品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現金（小銭も） <input type="checkbox"/> 預貯金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 身分証明書の写し <input type="checkbox"/> 保険証 <p>✓ 応急医薬品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 服用中の薬・お薬手帳 <input type="checkbox"/> 救急箱 <input type="checkbox"/> 三角巾 <p>✓ 清潔維持用品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 携帯トイレ・消臭剤・凝固剤 	<p>✓ 照明・情報機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備電池） <input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器（電池式） <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 筆記用具 <p>✓ 衣類等</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 動きやすい服 <input type="checkbox"/> 肌着 <input type="checkbox"/> スニーカー・スリッパ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 寝具 <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災頭巾 <p>✓ 乳幼児用品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 紙おむつ・おしりふき
---	---	---

※災害時に必要なものは、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

※風呂の水は残すなど、生活用水を確保しておきましょう。

※断水や停電に備えて、火や水を使わなくても食べられるものを多めに用意しておきましょう。

※高層マンションの場合は、食料品などの備蓄品をより多めに用意しておきましょう。




※車のトランクや物置の中にも非常持出品を入れておくと安心です。

感震ブレーカーによる電気火災対策

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、電気器具の転倒による火災や、停電後の電気復旧時に火災が発生する通電火災が多発しました。

地震発生時に、電気が原因となる火災対策に有効であるとされるのが、感震ブレーカーです。感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

感震ブレーカーにはさまざまなタイプのものがあり、機能がそれぞれ異なりますので、ご家庭の状況によって使い分けることができます。この機会に、感震ブレーカーの設置を検討してみたいはいかがでしょうか。

感震ブレーカーのタイプ	分電盤タイプ	コンセントタイプ	簡易タイプ
本体写真(例)	 ↑内蔵型 後付型→		
揺れを感知してから切断までの時間的猶予※	有	無	無
屋内配線への通電を遮断	○	×	○
コンセントへの通電を遮断	○	○	○
電源コードへの通電を遮断	○	○	○
各電気機器への通電を遮断	○	○	○

出展：経済産業省ホームページ「感震ブレーカーの普及啓発」より

※揺れを感知してから切断までの時間（通常3分程度）に、建物内にいる人は、建物からの避難や電気製品の電源を切る等の安全確保を行うことができる。